

令和7年度 安曇野市区等交付金の手引き

令和7年4月

安曇野市 市民生活部 地域づくり課

目 次

1	交付金の概要	1
2	交付要件及び留意事項	2
3	手続きの流れについて	4
4	提出書類記入例	5
	様式第1号～様式第5号、様式第7号【4月提出書類】	5
	様式第8号～様式第11号【変更時提出書類】	14
	様式第13号～様式第16号【3月提出書類】	20

1 区等交付金の概要

区等交付金は、安曇野市区長会と合意のもとで市が各区に依頼する事業に対し、その対価として交付するものです。下記の根拠に基づき交付額を算出します。

各項目の合計額を6月と12月の2回に分けて概算払いで交付し、年度末に精算します。

事業が実施できない場合など、交付決定額に変更が生じる際は、「事業計画変更書」の提出が必要です。事前に各地域区長会事務局へご相談ください。

交付対象事業（市から依頼する事業）	交付金の額
地区のとりまとめ、調査等に関する事業（区要望等）	181,440円（各区一律）
委員等人選等に関する事業	4月1日現在の加入世帯数×750円
募金のとりまとめに関する事業	4月1日現在の加入世帯数×70円
安全パトロール事業（交通安全啓発等）	81,900円（各区一律）
環境活動事業	4月1日現在の住基世帯数×250円+50,000円
広報に関する事業	4月1日現在の加入世帯数×600円 +（回覧組数－市が配布する件数）×1,380円
指定集積所管理運営事業	4月1日現在の住基世帯数×150円
部制度等運営に関する事業 ※部制度導入区のみ	4月1日現在の住基世帯数が 100世帯以下 150,000円 101世帯～500世帯 170,000円 501世帯～1,000世帯 200,000円 1,001世帯以上 250,000円



2 交付要件及び留意事項

(1) 安全パトロール事業

概要	・区民により安全安心を守る活動に対し交付するものです。 ・安全安心活動は区が主体となって行うという安曇野市区長会の方針を受け、部制度導入の如何に関わらず全ての区へ交付します。
交付要件	・<u>次の要件ア～エの全ての事業を実施することが要件です。</u> - ア 全国地域安全運動（10月）及び年末特別警戒（12月）の期間に実施する防犯事業 - イ 季別の交通安全運動期間（4月、7月、9月、12月）に実施する交通安全事業 - ウ 区の実情に応じた危険個所の点検など、地域の安全、安心に関する事業 - エ その他、区民が日常的に行う防犯灯の点検（気がついた人が連絡）、パトロールなど
留意事項	・要件ア及び要件イは、区の実情に応じて、各期間中の活動人数・回数・活動箇所は問いません。また、運動期間中に天候等の突発的理由により実施できなかった場合は、運動期間外に実施しても対象とします。 ・防犯や交通安全に係る用具の購入、啓発に係る費用は、この交付金から支出してください。

(2) 環境活動事業

概要	・各区で行われる環境美化活動や環境保全活動に対し交付するものです。
交付要件	・<u>次の要件ア～ウの全ての活動を実施することが要件です。</u> - ア 一斉清掃日を設け、区内の美化に努める。※市が指定する一斉清掃日は5月、11月 - イ ごみの資源化推進活動及びごみの出し方指導 - ウ その他、区民による日常的なパトロール
留意事項	・要件アについて、市が指定した一斉清掃日に実施できない場合は、指定日外に実施しても対象となります。 ・要件ウの活動例として、不法投棄・野焼き・河川への油流出の見回り、アレチウリ等外来植物の繁茂・アメリカシロヒトリ等の外来種の生育把握などがあります。その他、日常的に区民により行われる環境美化、環境保全活動を対象とします。 ・アレチウリ等特定外来生物の駆除については、環境課より別途案内があります。参加者へは交付金とは別に市から謝礼が支払われます。 ・日常生活の中で気が付いた点があれば、環境課へ連絡してください。

(3) 指定集積所管理運営事業

概要	・市が指定した集積場所の清掃・修繕などの管理に対し交付するものです。
留意事項	・<u>集積所の扉等の小破修繕は交付金から支出してください。</u>新しく構造物を設置もしくは既存の構造物を改修する場合には、補助制度があります。環境課へご相談ください。 ・不適切なごみは収集業者が「だめごみシール」を貼付しますので、その後1週間ほどそのまま置いておき、それでも放置されたままの場合は区等で用意したごみ袋に入れ直して出してください。（大量の場合や粗大ごみは環境課へ連絡してください。）

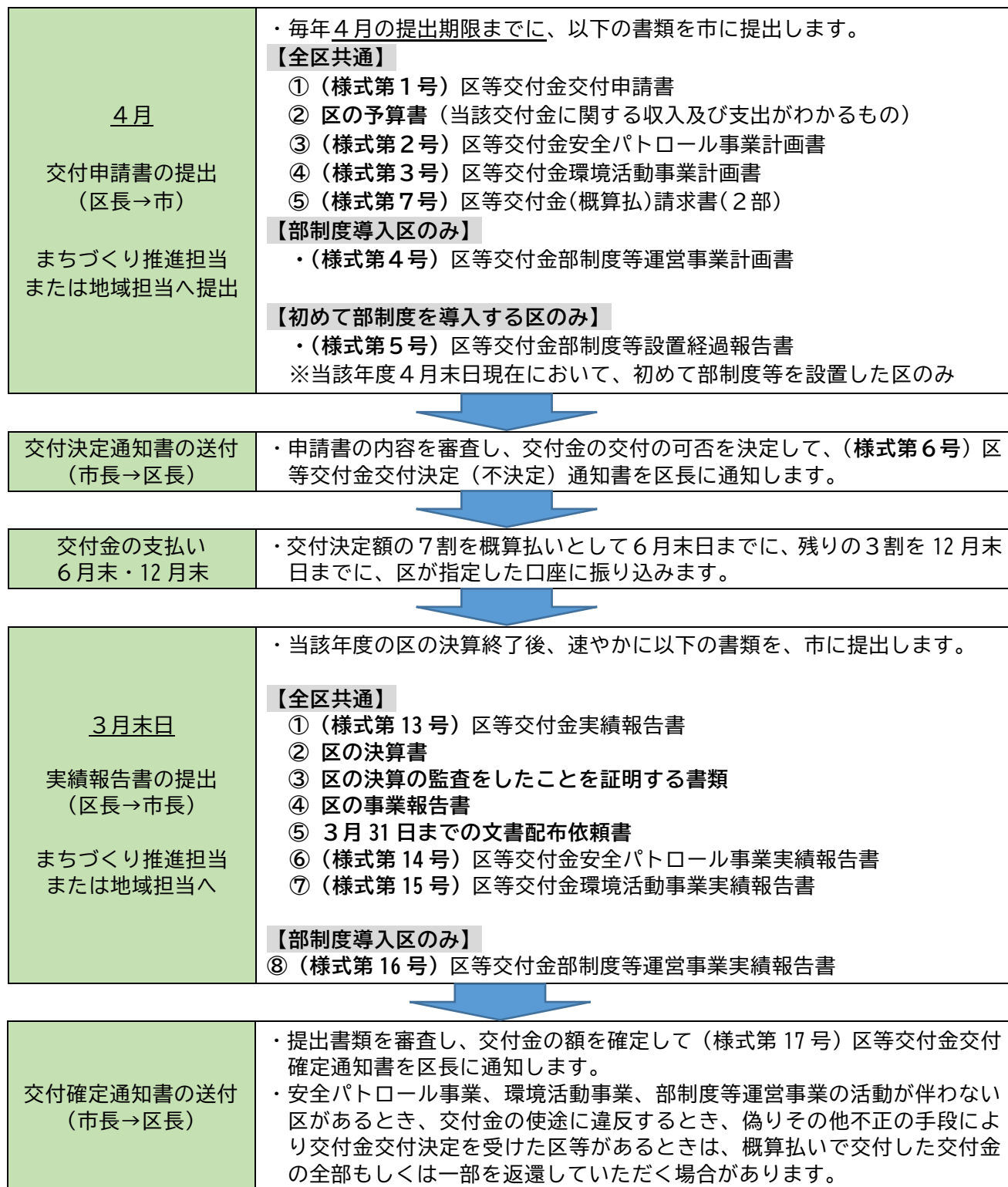
(4) 部制度運営事業

概要	・区民が支え合い助け合い、様々な地域課題を解決する仕組みとして安曇野市区長会が推進する「部制度」を導入した区に対し、活動支援を目的として交付するものです。 ・「部制度」は、各区において、以下のア、イの仕組みを構築することです。 - ア 区のあり方を見直し、区民一人ひとりが主体的に地域活動に参画し、支え合い助け合う区の仕組み - イ 区に必要な事業を効率的かつ効果的に推進するための仕組み 安曇野市自治基本条例第24条では、区の役割について、「区は支え合い及び助け合いを土台に地域課題を解決することにより、地域福祉の向上及び安全かつ安心な地域を創り出すよう努めるものとする。」と規定しています。
要件	・ <u>次の要件ア、イを全て満たすことが要件です。</u> - ア 部制度の仕組みにより、区において必要な事業の企画・立案、進捗管理及び評価などを行う会議を開催すること。 - イ 部制度の仕組みにより、円滑な運営の推進を図り、区民の安全・安心の確保及び福祉の向上、区内の環境美化・環境保全、防災力の強化、区民の学びや交流などの充実が図られる事業を実施すること。
留意事項	・ <u>区等交付金申請時、部制度導入初年度のみ</u>、様式第5号（制度設置までの経過と組織体系の報告）の提出が必要です。以後の年度では提出不要です。 ・ 組織体制の見直し及び合意形成の経過を経て構築した、区に関わる組織の横断的な連携がとれた仕組みであることがポイントです。 ・ 部制度の導入に当たっては、限られた役員だけでなく、大勢の区民により検討してください。 ・ 毎年4月末日現在において部制度等を組織化している区が対象です。 ・ 部制度の組織体系については、区に関わる組織の横断的連携がとれており、見直しの経過を経た組織であれば、結果的に部を設けない組織となっても対象とします。 ・ 区内の組織が横断的に連携を図る会議（横断的会議）を開催し、PDCAサイクル（Plan→Do→Check→Action）を回して課題解決に取り組んでいくことを心掛けてください。 ・ 組織体系の見直しの経過を経ており、横断的会議の仕組みが整えられていれば、規約が整わない段階でも試行として申請することができます。（規約が整備できた段階で提出してください。） ・ 「安曇野市地区公民館活動補助金」で交付される事業等（公民館役員手当・公民館事業）に充てることはできません。

(5) その他

留意事項	・ 区等交付金交付対象事業について、国、県、地方公共団体及びそれらの外郭団体から補助を受けていないこと。 ・ 「安曇野市地区公民館活動補助金」で交付される公民館役員手当及び公民館事業、「子ども会育成活動補助金」の交付を受けた事業に充てることはできません。 ・ 県の「元気づくり支援金」、「コミュニティ助成事業補助金」等を受ける場合は、明確に区分する必要があります。
------	--

3 手続きの流れについて



※申請内容に変更が生じた場合は、手続きが必要になります。特に交付要件に挙げた事業が実施できない場合、交付金が減額となる場合がありますので、事前に地域づくり課にご相談ください。

4 提出書類記入例

様式第1号（第7条関係）

区等交付金交付申請書

令和7年 4月 1日

（宛先） 安曇野市長

申請日は4月1日としてください。

区等名称 ○○区
住 所 安曇野市○○○○
代表者名 ○○ ○○ 印

次のとおり区等交付金の交付を申請します。

4月1日現在の区長（代表者）氏名
及び住所を記入。
印鑑は個人印・区長印どちらでも結構です。

1 交付申請額 金 空欄のまま 円

2 世帯数等 （1） 加入世帯数 ○○○ 世帯（4月1日現在）
（2） 回覧組数 ○○ 組数（4月1日現在）

3 事業実施期間 令和7年 4月 1日から 令和 8年 3月 31日まで

4 添付書類

- （1） 予算書（交付金に関する収入及び支出がわかるもの）
- （2） 区等交付金安全パトロール事業計画書（様式第2号）
- （3） 区等交付金環境活動事業計画書（様式第3号）
- （4） 区等交付金部制度運営事業計画書（様式第4号）
- （5） 区等交付金部制度等設置経過報告書（様式第5号）

※（1）から（3）は83区が提出すること

（4）は83区のうち部制度等設置区が提出すること

（5）は部制度等設置区のうち、設置初年度の区が提出すること

区等交付金安全パトロール事業計画書

（ ○ ○ 区）

1 活動（安全パトロール等）

時期	事業項目	事業内容	実施者
○月○日 ～○日	交通安全運動（春） （交付要件イ①）	・区内5か所で立哨活動（3日間） ・回覧板による啓発活動	PTA・安協等安全 安心部
○月○日 ～○日	交通安全運動（夏） （交付要件イ②）	・区内5か所で立哨活動（1日間） ・交通安全教室の開催	PTA・安協等
○月○日 ～○日	交通安全運動（秋） （交付要件イ③）	・区内5か所で立哨活動（3日間） ・小学生に交通安全に関する寸劇	PTA・安協等安全 安心部
○月○日 ～○日	交通安全運動（冬） （交付要件イ④）	・区内5か所で立哨活動（1日間） ・	PTA・安協等安全 安心部
○月○日	全国地域安全運動 （交付要件ア①）	・防犯パトロール ・敬老会で防犯活動に関する寸劇	安全安心部
○月○日	年末特別警戒 （交付要件ア②）	・防犯パトロール ・防犯に関する啓発（回覧板）	安全安心部
日常的	危険個所の点検 （交付要件ウ）	・危険個所の点検パトロール、改善策 の検討	安全安心部 PTA
日常的	防犯灯の点検 日常パトロール等 （交付要件エ）	・日常的に散歩する方が通学時間に パトロール	無理のない範囲 でできる人
冬期間（降雪 時）	除雪	・積雪時の通学路の確保	安全安心部、 PTA、除雪隊

これらは
必須項目
です。

区等交付金環境活動事業計画書

（ ○ ○ 区）

1 活動（一斉清掃等）

時期	事業項目	事業内容	実施者
○月○日	一斉清掃活動（5月） （交付要件ア①）	・区内10か所にて一斉清掃活動	環境部ほか
○月○日	一斉清掃活動（11月） （交付要件ア②）	・区内10か所にて一斉清掃活動	環境部ほか
日常的	ごみの出し方指導 ごみの資源化推進活動 （交付要件イ）	・区内○か所でごみの出し方指導	環境部ほか
日常的	パトロール （交付要件ウ）	・日常的に散歩する方が不法投棄、野焼きの禁止・河川への油流出等パトロール ・日常的に散歩する方が外来植物・外来種の状況把握パトロールなど	無理のない範囲でできる人
日常的	集積場所の維持管理	・集積場所の清掃など	環境部ほか
○月○日 ～○日	環境保全活動	・区内アレチウリ等駆除（2日間）	環境部
○月○日 ～○日	環境保全活動	・区内アメリカシロヒトリ駆除（3日間）	環境部

これらは
必須項目
です。

1 横断的会議

連携組織	会議名	会議時期	会議内容	備考
○○○○会 （全ての部） 各部の横断的連携組織による会議	区内横断会議	4月	・年間予定の確認 ・各部からの連絡	複数の部による横断的な連携事業がある場合
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携調整会議 （企画・立案）	5月	●●事業について ・●●事業スケジュール ・各部の役割分担について決定する	
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携調整会議 （進捗管理）	9月	●●事業について ・各部の進捗状況確認 ・連携の強化	
○○○○会 （全ての部）	区内横断会議	10月	・各部の事業進捗状況確認 ・各部との連携状況の確認 ・各部からの連絡事項	
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携調整会議 （進捗管理）	11月	●●事業について ・各部の進捗状況確認 ・連携の強化	
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携調整会議 （反省会）	2月	●●事業について ・改善点洗い出し（評価） ・次年度への改善策検討	
○○○○会 （全ての部）	区内横断会議	3月	・各部の反省・改善策 ・各部の連絡事項 ・連携強化のための改善策 ・総会について	

2 部等の会議

部等名	会議名	会議時期	会議内容	備考
▽▽部	▽▽部会議	毎月第1月曜日	・本年度事業計画について ・〇〇事業について ・〇〇事業について ・〇〇事業について ・〇〇事業について ・事業の進捗状況確認 ・事業の評価 ・部として改善点 ・次年度事業計画について	
◇◇部	☆☆部会議	偶数月の第2火曜日	・本年度事業計画について ・〇〇事業について ・〇〇事業について ・〇〇事業について ・事業の進捗状況確認 ・事業の評価 ・部として改善点 ・次年度事業計画について	事業の前は必要に応じて会議を開催する
□□部	□□部会議	毎月第3水曜日	・本年度事業計画について ・〇〇事業について ・〇〇事業について ・事業の進捗状況確認 ・事業の評価 ・部として改善点 ・次年度事業計画について	必要に応じて関係する他の部に会議に出席してもらう
◎◎部	◎◎部会議	毎月第4木曜日	・本年度事業計画について ・〇〇事業について ・区の広報作成（掲載記事、広報方法の検討について） ・事業の進捗状況確認 ・事業の評価 ・部として改善点 ・次年度事業計画について	

他の補助事業等の対象
事業は除きます

3 活動

部等名 連携組織	事業名	事業概要（時期、内容等）	備考
▽▽部 ◇◇部	世代間交流 事業	7月に開催。子どもから高齢者の世代間交流を目的に、交流会を開催する。料理教室を行い、交流会での昼食を作りながら交流を図る。	
▽▽部	居場所づくり 事業	9月〇〇日開催。当事業は居場所づくりが最大の目的である。秋に「〇〇区なんでも発表会」を開催し、区内で活動している個人、団体に日頃の活動や得意なことについて発表してもらい。発表を通じて、共通の趣味を持った仲間を見つけるきっかけづくりにする。	
	〇〇事業	11月に開催。・・・・・・・・・・・・・・・・。 ・・・・・・・・・・・・・・・・。	
◇◇部	歴史・文化再 発見事業	7月に開催。当事業の目的は伝統文化の継承であることから、区の歴史・文化を学び、後世に伝えていくため「再発見！〇〇区」を奇数月に開催する。子どもから高齢者まで幅広く参加してもらい、地域を知るだけでなく、世代間交流を図る。	
	〇〇事業	10月に開催。・・・・・・・・・・・・・・・・。 ・・・・・・・・・・・・・・・・。	
□□部	防災訓練及 び講習会	区民の防災意識向上を目的とする。この事業では、日常的に防災意識を高めるための事業を展開する。四半期ごと（5月、8月、11月、2月）にテーマを変えた防災訓練や講習会を開催する。	
	〇〇事業	10月に開催。・・・・・・・・・・・・・・・・。 ・・・・・・・・・・・・・・・・。	
◎◎部	広報事業	毎月広報を発行し、区内の情報を発信する。広報を通じて、区民の一体感を醸成する。内容は昨年のを参考に新たなコーナーを設けたい。また、区民に広報についてアンケートを実施する。	
	〇〇事業	10月に開催。・・・・・・・・・・・・・・・・。 ・・・・・・・・・・・・・・・・。	

区等交付金部制度等設置経過報告書

（ ○ ○ 区）

1 部制度等設置までの経過

年月（日）	部制度等設置に関する区民の合意形成までの経過（会議、審議内容等）
令和○年 ○月○日	令和○年度区総会開催。区の組織について見直しをするための「区あり方検討委員会」の立ち上げについて承認を得た。
令和○年○月	区のあり方検討委員会メンバーの検討及び依頼
令和○年 ○月○日	区あり方検討委員会設立。規約、スケジュールの確認を行うとともに具体的な区の課題について洗い出した。
令和○年 ○月○日	区あり方検討委員会開催。市区長会事務局の出前講座を聴講。課題の整理と課題解決のための区の組織のあり方について検討した。
令和○年 ○月○日	区あり方検討委員会開催。区の組織のあり方及び区民アンケートの実施について検討した。
令和○年 ○月○○日	区のあり方検討委員会開催。区の組織のあり方及び区民アンケートの実施について検討した。 「なぜ課題なのか」「どういった改善が求められます」。
令和○年○月○ 日から令和○年 ○月○日	区民アンケートを実施。 （区の課題、区の将来ビジョン、区の組織体制について）
令和○年 ○月から○月	アンケートの回収及び集計
令和○年 ○月○○日	区のあり方検討委員会開催。アンケート結果に基づく部制度の組織体制について検討した。
令和○年 ○月○○日	区のあり方検討委員会開催。部制度の組織体制、各部の役割、役員手当について検討した。
令和○年 ○月○○日	区のあり方検討委員会開催。部制度構築に向け、区内各組織との調整会議を設けた。
令和○年 ○月○○日	区のあり方検討委員会開催。部制度の組織体制、規約、役員手当等素案を作成し、区民への意見聴取を行うことを決定した。
令和○年 ○月から○月	部制度素案に対する区民の意見聴取を行った。 意見者 ○○人、意見○○件
令和○年 ○月○○日	区のあり方検討委員会開催。区民からの意見の集約に基づく、最終案を決定した。
令和○年 ○月○○日	令和○年度区総会開催。部制度設置が承認された。

2 部制度等の組織体系

部等名	役割	代表者	役員及び部員数（人）
▽▽部	・ 日常的な支え合い、助け合い、見守り合い ・ 健康づくり ・	▽▽ ▽▽	部長 1 人（地区社協会長）、副部長 1 人、部員 8 人
◇◇部	・ 伝統文化継承 ・ 世代間交流 ・	◇◇ ◇◇	部長 1 人、副部長 1 人、部員 4 人
□□部	・ 防災、減災 ・ 災害対応 ・	□□ □□	部長 1 人（自主防災会長）、防災リーダー1 人、部員 14 人
◎◎部	・ 広報活動 ・ 区加入促進 ・ 区庶務 ・	◎◎ ◎◎	部長 1 人、副部長 1 人、部員 4 人
△△部	・ 交通安全 ・ 防犯 ・ 危険箇所点検 ・	△△ △△	部長 1 人（交通安全担当）、副部長 1 人（防犯担当）、部員 8 人

※区の規約を添付してください。

様式第7号（第9条関係）

区等交付金（概算払）請求書

2部作成の上、申請時に一緒にご提出ください。

- ・7割概算払い(6月)用
- ・3割概算払い(12月)用

空欄のまま→

年 月 日

（宛先） 安曇野市長

6月、12月の区長（代表者名）の氏名及び住所
押印は、申請時に使用した印鑑を使用してください

区等名称 ○○区

住 所 安曇野市○○

代表者名 ○○ ○○ 印

空欄のまま→

年 月 日付け 第 号で交付の決定のあった区等交付金を請求します。

1 請求金額 金 空欄のまま 円

2 振込先

口座振替金融機関		口座番号	当座・普通
金融機関名	○○銀行 △△ 支店・支所	フリガナ	○○ク ダイヒョウシャ ○○ ○○
		口座名義	○○区 代表者 ○○ ○○

●振込口座をご確認ください。

「通帳の名義」と同じ記載をお願いします。

「代表者○○○」がある場合も記入をお願いします。

様式第9号（第10条関係）

区等交付金安全パトロール事業変更計画書

(☐ ☐ ☒)

1 活動（安全パトロール等）

[illegible]

[illegible]

1 横断的会議

連携組織	会議名	会議時期	会議内容	備考

変更箇所がわかるよう
記載します。

2 部等の会議

部等名	会議名	会議時期	会議内容	備考

変更箇所がわかるよう
記載します。

3 活動

部等名 連携組織	事業名	事業概要（時期、内容等）	備考

変更箇所がわかるよう
記載します。

区 等 交 付 金 実 績 報 告 書

提出日
(日付は3月31日まで)

令和 年 月 日

(宛先) 安曇野市長

区等名称 ○○区
住 所 安曇野市○○
代表者名 ○○ ○○ 印

区等交付金について、次のとおり報告します。

- (○) 広報に関する事業
- (○) 安全パトロール事業
- (○) 部制度等運営に関する事業
- (○) 環境活動事業報告書

3月末の区長（代表者）の氏名
及び住所
押印は、申請時に使用した印鑑
を使用してください

該当する事業に○をつけます。

「広報に関する事業」とは市が依頼する区等回覧文書のことです。
「部制度等運営に関する事業」は部制度導入区のみ該当します。

【添付書類】

- ・決算書
- ・決算の監査をしたことを証明する書類
- ・事業報告書
- ・安全パトロール事業実績報告書（様式第14号）
- ・環境活動事業実績報告書（様式第15号）
- ・部制度等運営事業実績報告書（様式第16号）※該当区のみ提出

要件ア及びイについては、
別期間に置き換えても構
いません。

区等交付金安全パトロール事業実績報告書

(○ ○ 区)

1 活動（安全パトロール等）

月日	事業項目	事業内容	実施者
○月○日 ～○日	交通安全運動（春） （交付要件イ①）	・区内○か所で立哨活動（○日間） ・回覧板による啓発活動	PTA・安協等安 全安心部
○月○日 ～○日	交通安全運動（夏） （交付要件イ②）	・区内○か所で立哨活動（○日間）	PTA・安協等
○月○日 ～○日	交通安全運動（秋） （交付要件イ③）	・区内○か所で立哨活動（○日間） ・小学生に交通安全に関する寸劇	PTA・安協等安 全安心部
○月○日 ～○日	交通安全運動（冬） （交付要件イ④）	・区内○か所で立哨活動（○日間）	PTA・安協等安 全安心部
○月○日 ～○日	全国地域安全運動 （交付要件ア①）	・防犯パトロール	安全安心部
○月○日 ～○日	年末特別警戒 （交付要件ア②）	・防犯パトロール ・防犯に関する啓発（回覧板）	安全安心部
日常的	危険個所の点検 （交付要件ウ）	・危険個所の点検パトロール、改善策 の検討	安全安心部 PTA
日常的	防犯灯の点検 日常パトロール等 （交付要件エ）	・日常的に散歩の方が通学時にパ トロール	安曇野 太郎 他○人
○月○日	交通安全教室	・子ども交通安全教室の開催	安 全 安 心 部 PTA・安協
○月○日	防犯啓発事業	・敬老会で防犯活動に関する寸劇	安全安心部
○月○日	除雪	・積雪時の通学路の確保	安全安心部、 PTA、除雪隊
○月○日	除雪	・積雪時の通学路の確保	安全安心部、 PTA、除雪隊

これらは
必須項目
です。

1 活動（一斉清掃等）

月日	事業項目	事業内容	実施者
○月○日 (1回目)	一斉清掃活動 (交付要件ア①)	・区内10箇所にて一斉清掃活動	環境部ほか
○月○日 (2回目)	一斉清掃活動 (交付要件ア②)	・区内10箇所にて一斉清掃活動 ・一斉清掃日に自宅周辺の清掃活動 など	環境部ほか
日常的	ごみの資源化推進活動 及びごみの出し方指導 (交付要件イ)	・区内○か所でごみの出し方指導	環境部ほか
日常的	パトロール (交付要件ウ)	・日常的に散歩する方が不法投棄、 野焼きの禁止・河川への油流出等パ トロール ・日常的に散歩する方が外来植物・ 外来種の状況把握パトロール など	安曇野太郎 他○人 環境部ほか
日常的	集積場所の維持管理	・集積場所の清掃など	環境部ほか
○月○日 ～○日	環境保全活動	・区内5か所でアレチウリ等駆除 (2日間)	環境部
○月○日 ～○日	環境保全活動	・区内4か所アメリカシロヒトリ駆 除(3日間)	環境部

これらは
必須項目
です。

区等交付金部制度運営事業実績報告書

各部の横断的連携組織による会議

（ ○ ○ 区）

1 横断的会議

連携組織	会議名	会議開催日	会議内容	備考
○○○○会 (全ての部)	区内横断会議	4 月○日	・ 令和○年度事業計画及び予算 ・ 各部からの連絡事項	
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携 調整会議（企 画・立案）	5 月○日	・ ●●事業スケジュール決定。 ・ 各部の役割分担について決定した。これまで、重複して行っていた点がいくつか発見でき、改善につながった。	
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携 調整会議 （進捗管理）	9 月○日	・ 各部の進捗状況確認し、遅れが出ている項目について連携を強化することとした。	
○○○○会 (全ての部)	区内横断会議	10 月○日	・ 各部の事業進捗状況の確認と各部の連携状況報告を行った。	
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携 調整会議 （進捗管理）	11 月○日	・ 各部の進捗状況の確認と終了した事業の報告を行った。	
▽▽部 ◇◇部 □□部	●●事業連携 調整会議 （反省会）	2 月○日	・ ＊＊＊＊といった点で連携不足だったので、次年度からは＃＃＃といった方法で取り組むこととした。 ・ 情報共有のため、「気づきノート」を用意し、各々気づいたことを共有ノートにかいていく。	
全ての部	区内横断会議	3 月○日	・ 情報共有について、●●事業で使っている「気づきノート」を真似したところ、改善された。ノートの記載方法に工夫することとした。 ・ 各部の連絡事項 ・ 総会について	

2 部等の会議

連携組織	会議名	会議開催日	会議内容	備考
▽▽部	▽▽部会議	毎月第1月曜日	・本年度事業計画について(4月) ・〇〇事業について(5月、6月) ・〇〇事業について(7月、8月) ・〇〇事業について(9月、10月) ・〇〇事業について(11月) ・事業の進捗状況確認(12月) ・事業の評価(12月) ・部としての改善点(1月) ・次年度事業計画について(2月、3月)	
◇◇部	◇◇部会議	偶数月の第2火曜日	・本年度事業計画について(4月) ・〇〇事業について(5月) ・〇〇事業について(6月、7月) ・〇〇事業について(8月、9月) ・事業の進捗状況確認(10月) ・〇〇事業について(11月、12月) ・事業の進捗状況確認、評価(1月) ・部としての改善点(2月) ・次年度事業計画について(3月)	
//////////		\\\\\\\\\\\\\\\\		//////////

3 活動

部等名 連携組織	事業名	事業概要（開催日、内容等）	備考
▽▽部 ◇◇部	世代間交流事業	7月〇日開催。子ども（35人）、高齢者（28人）の世代間交流事業として交流会を開催した。料理教室（郷土料理）を行い、昼食を作り、食べながら交流を図り、またその後室内ゲームで・・・・・・・・	
▽▽部	居場所づくり事業	9月〇〇日開催。居場所づくりが目的。 秋に「〇〇区なんでも発表会」を開催し、区内で活動している個人、団体に日頃の活動や得意なことについて発表してもらった。発表を通じて、共通の趣味を持った仲間を見つけるきっかけづくりになった。	
	〇〇事業	11月に開催。・・・・・・・・ ・・・・・・・・。	
◇◇部	歴史・文化再発見事業	7月に開催。当事業の目的は伝統文化の継承であることから、区の歴史・文化を学び、後世に伝えていくため「再発見！〇〇区」を奇数月に開催した。子どもから高齢者まで幅広く参加してもらい、地域を知るだけでなく、世代間交流を図ることができた。	